

2018年3月期 決算補足資料

不二製油グループ本社株式会社

1

目次

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 2018年3月期業績 | 2. 連結 通期予想 |
| (1) 連結 損益概要 | (1)セグメント情報の算定方法の変更 |
| (2) 連結 油脂部門損益 | (2)連結 通期予想 |
| (3) 連結 製菓・製パン素材部門損益 | (3)連結 地域別通期予想 |
| (4) 連結 大豆部門損益 | 3. 中期経営計画 定量目標 |
| (5) 連結 地域別損益 | |
| (6) 連結 貸借対照表 | |
| (7) 連結 キャッシュ・フロー | |
| (8) 連結 指標 | |
| (9) 2018年3月期トピックス | |

※1：本資料に記載されている金額は億円未満を四捨五入で表示しています。
※2：本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2

1-（1）連結 損益概要

（単位：億円）

		2017年 3月期	2018年 3月期	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	1,094	1,170	+77	+7.0%
	製菓・製パン素材	1,440	1,526	+87	+6.0%
	大豆	392	380	▲12	▲3.1%
	合計	2,925	3,076	+151	+5.2%
営業利益	油脂	64	67	+3	+4.3%
	製菓・製パン素材	106	112	+6	+6.0%
	大豆	27	26	▲1	▲4.5%
	合計	197	205	+8	+4.0%
営業利益率		6.7%	6.7%	▲0.0p	—
経常利益		197	200	+3	+1.4%
親会社株式に帰属する当期純利益		121	137	+16	+13.5%
包括利益		144	138	▲5	▲3.7%

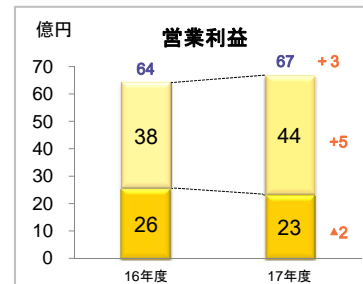
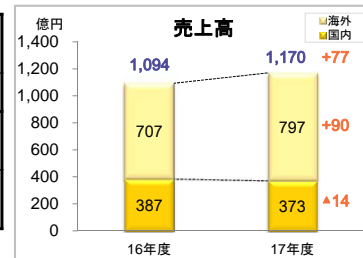
3

1-（2）連結 油脂部門損益

	2017年 3月期	2018年 3月期	対前期	
			増減額	増減率
売上高	1,094	1,170	+77	+7.0%
営業利益	64	67	+3	+4.3%

業績サマリー

- **国内**
フライ用油脂など採算を重視した販売により減収、利益面では原料高による採算性低下に伴い減益。
- **海外**
米州・欧州でのチョコレート用油脂などの販売が堅調に推移し増収・増益。



4

1-(3) 連結 製菓・製パン素材部門損益

	2017年 3月期	2018年 3月期	対前期	
			増減額	増減率
売上高	1,440	1,526	+87	+6.0%
営業利益	106	112	+6	+6.0%

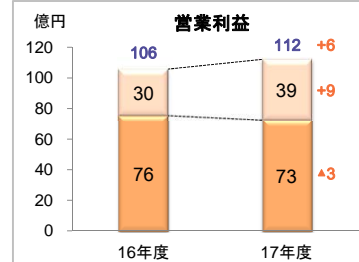
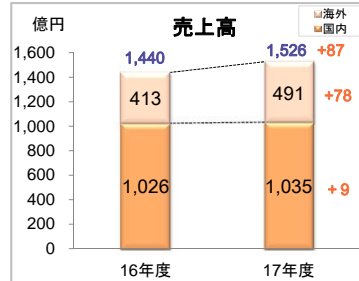
業績サマリー

● 国内

植物性クリーム、流通菓子市場向けチョコレートが伸長したことにより、天候不順によるアイス用チョコレートの販売減少をカバーして増収、利益面では原料高に伴う採算性低下により減益。

● 海外

中国市場でのフィリングの販売が順調に推移したこと、アジアおよびブラジル市場においても増収。利益面ではアジア・ブラジルでの利益伸長により増益。



5

1-(4) 連結 大豆部門損益

	2017年 3月期	2018年 3月期	対前期	
			増減額	増減率
売上高	392	380	▲12	▲3.1%
営業利益	27	26	▲1	▲4.5%

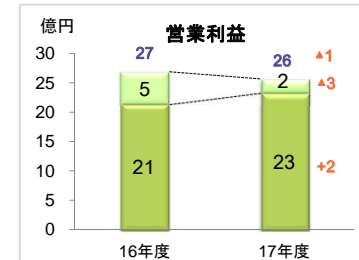
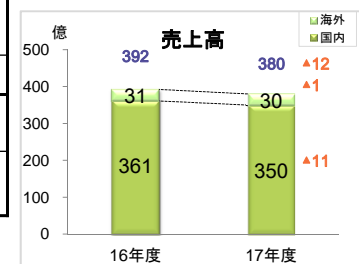
業績サマリー

● 大豆たん白素材

シリアル・健康食品市場向けの販売が順調に推移。

● 大豆たん白機能剤

飲料用途向けの販売が堅調に推移したことにより増収。



6

1-(5) 連結 地域別損益

(単位:億円)

		2017年 3月期	2018年 3月期	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	1,774	1,758	▲16	▲0.9%
	アジア	495	571	+76	+15.4%
	欧米	657	748	+91	+13.9%
	合計	2,925	3,076	+151	+5.2%
営業利益	日本	123	119	▲4	▲3.1%
	アジア	44	46	+1	+3.1%
	欧米	31	40	+10	+32.1%
	消去	▲1	▲0	+0	—
	合計	197	205	+8	+4.0%

〔業績サマリー〕

日 本:採算を重視した販売により減収、原料高による採算性低下等に伴い減益。

アジア:中国市場の販売好調、採算性の向上等により増収・増益。

欧 米:チョコレート用油脂の販売堅調、ブラジル市場での販売堅調等により増収・増益。

7

1-(6) 連結 貸借対照表

(単位:億円)

	2017年 3月期	2018年 3月期	対前期末	主な増減要因
流動資産	1,325	1,324	▲0	売上債権の増加、棚卸資産の減少等
固定資産	1,397	1,396	▲0	有形固定資産の増加、のれんの減少、その他固定資産の減少等
資産合計	2,721	2,720	▲1	
有利子負債	657	566	▲91	
その他負債	510	505	▲4	仕入債務の増加、その他流動負債の増加、その他固定負債の減少等
負債合計	1,166	1,071	▲95	
純資産合計	1,555	1,649	+94	利益剰余金の増加、為替換算調整勘定の減少等

8

1-(7) 連結 キャッシュ・フロー

(単位:億円)

	2017年3月期	2018年3月期	対前期
税引前当期純利益	181	188	+7
減価償却費	104	109	+5
他増減	▲120	▲15	+105
営業キャッシュ・フロー	165	282	+117
投資キャッシュ・フロー	▲138	▲145	▲8
フリー・キャッシュ・フロー	28	137	+109
借入金等による調達・返済	38	▲92	▲129
配当支払・自己株取得等	▲94	▲43	+52
財務キャッシュ・フロー	▲57	▲135	▲78
現金及び現金同等物増減	換算差額含む ▲35	換算差額含む 1	+36
新規連結及び連結除外に伴う増減	▲5	2	+7
現金及び現金同等物期末残高	127	130	+3

(注)・減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産等の償却費を含めています。
・現金及び現金同等物増減には、現金及び現金同等物に係る換算差額を含めています。

9

1-(8) 連結 指標

(単位:億円)

	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期
設備投資額	65	61	112	153	136	147
減価償却費	81	83	82	92	96	100
有利子負債	370	289	296	600	657	566
純資産(非持除く)	1,154	1,281	1,456	1,423	1,507	1,602
1株当たり純資産	1,342円	1,490円	1,694円	1,656円	1,754円	1,864円
総資産	1,971	2,022	2,236	2,669	2,721	2,720
自己資本比率	58.5%	63.3%	65.1%	53.3%	55.4%	58.9%
D/Eレシオ	0.32	0.23	0.20	0.42	0.44	0.35
ROE	7.6%	6.7%	6.8%	6.4%	8.3%	8.8%
ROA	7.3%	7.4%	6.3%	5.8%	7.3%	7.3%
売上高営業利益率	6.1%	6.0%	5.2%	5.9%	6.7%	6.7%

(注)・減価償却費は、有形固定資産の減価償却費を表示しています。
・純資産は非支配株主持分を除いた普通株式に係る純資産額を表示しています。
・D/Eレシオ＝有利子負債÷純資産(非支配株主持分除く)
・ROE＝親会社株主に帰属する当期純利益÷純資産
・ROA＝経常利益÷総資産

10

1-(9) 2018年3月期トピックス

2017年4月	不二製油グループ人権方針を制定
2017年7月	MSCI 日本株女性活躍指数構成銘柄(WIN)に選定
	MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数構成銘柄 平成29年7月九州北部豪雨に対する支援を実施
2017年8月	大阪府と「包括連携協定」を締結
	プラチナくるみん取得 食育プロジェクトが「第11回キッズデザイン賞」を受賞
2017年9月	相模屋食料株式会社への石川サニーフーズ株式会社の株式譲渡
2017年11月	日本IR協議会「IR優良企業特別賞」受賞
	UNITED PLANTATIONS BHD社の設立合意
2017年12月	おおさかストップ温暖化賞 特別賞を受賞
	ドバイ事務所の開設
2018年2月	健康経営優良法人2018 大規模法人部門(ホワイト500)に認定
2018年3月	FUJI OIL NEW ORLEANS, LLC社の設立決定

(注) 設立等については決定時点のトピックスとして記載しております。

11

2-(1) セグメント情報の算定方法の変更

セグメント情報の算定方法の変更について

当社グループは、中計「Towards a Further Leap 2020」のもと、成長戦略を推進し、グローバルスタンダードへの統一を進めております。

2017年3月期までのセグメントの実績値については、新規事業開発やグローバル経営体制の整備等に係る費用(以下：グループ管理費用)を各セグメントに組み替えて表示しておりましたが、この場合、各事業の実態が報告値と乖離する恐れがあるため、2018年度よりグループ管理費用の配賦基準の見直しを行い、各セグメントに帰属しない費用をセグメント利益の調整額として計上しております。

なお、次ページ以降にて比較対象としている2018年3月期の実績値については、算定基準変更後の方法に基づくセグメントの利益を記載しております。

12

2-(2) 連結 通期予想

(単位:億円)

		2018年 3月期	2019年 3月期	対前期	
				増減額	増減率
売上高	油脂	1,132	1,171	+39	+3.4%
	製菓・製パン素材	1,564	1,668	+104	+6.6%
	大豆	380	381	+1	+0.3%
	合計	3,076	3,220	+144	+4.7%
営業利益	油脂	73	73	▲0	▲0.6%
	製菓・製パン素材	129	137	+7	+5.6%
	大豆	35	41	+6	+15.6%
	調整額	▲33	▲37	▲4	▲12.2%
	合計	205	213	+8	+4.0%
営業利益率		6.7%	6.6%	▲0.1p	—
経常利益		200	207	+7	+3.6%
親会社株式に帰属する当期純利益		137	140	+3	+1.9%

(注)営業利益の消去は、各報告セグメントに配分していないグループ管理費用等を含めて表示しています。

13

2-(3) 連結 地域別通期予想

(単位:億円)

		2018年 3月期	2019年 3月期	対前期	
				増減額	増減率
売上高	日本	1,758	1,795	+37	+2.2%
	アジア	571	650	+79	+15.6%
	欧米	748	775	+27	+7.4%
	合計	3,076	3,220	+144	+7.8%
営業利益	日本	150	153	+3	+2.3%
	アジア	47	50	+3	+5.5%
	欧米	41	47	+5	+13.1%
	調整額	▲33	▲37	▲3	▲9.5%
	合計	205	213	+8	+4.0%

(注)営業利益の消去は、各報告セグメントに配分していないグループ管理費用等を含めて表示しています。

14

3. 中期経営計画 定量目標

中期経営計画 「Towards a Further Leap 2020」

連結 経営目標 (2020年度)

- ・ROE(株主資本利益率) 10%
- ・営業利益成長率 CAGR 6%以上
- ・EPS CAGR 8%以上
- ・株主還元 配当性向30%~40%